

# タブレット端末の導入と運用の実態について

## 八戸市議会を視察

〔視察日程〕

平成28年  
3月22～23日

〔視察研修先〕

青森県八戸市議会

〔参加議員〕

小林立栄  
菊池美也  
萩野幸弘  
瀧本孝一  
菊池巳喜男  
照井文雄  
荒川栄悦  
瀧澤征幸  
浅沼幸雄



説明に熱心に耳を傾ける

八戸市議会では、議  
会改革の一環として、  
印刷費などのコスト削  
減や事務効率化や省力  
化の観点から、市が議  
員に配布している会議  
資料や冊子等の紙資料  
を減らす「ペーパーレ  
ス化」を図るとともに、  
議員への情報伝達の迅  
速化、インターネット  
活用による政務調査活  
動の充実を図るため、  
平成27年9月定例会か  
らタブレット端末を導  
入することを決  
めた。タブレット  
端末利用に係  
る費用に関して  
は、一部を政務  
活動費で負担す  
ることとした。  
導入の効果とし  
て紙の削減効果  
は、年間16万枚、  
費用削減効果と  
して年間160  
万円を見込んで  
いる。  
今後の課題と

して、ペーパーレス化  
対象会議の拡大や会議  
システムの運用、端末  
使用基準等の整備が求  
められている、という  
説明を受けた。  
費用削減効果を含  
め、会議の質の向上、  
透明性を図るため遠野  
市議会にも導入するべ  
きであると強く感じた。

〔その他研修事項〕

青森県及び岩手県  
沿岸部の震災からの  
復興状況について



〔視察日程〕

平成28年  
4月3～4日

〔視察研修先〕

東京都武蔵野市

〔参加議員〕

安部重幸  
小林立栄  
菊池美也  
瀧本孝一  
瀧澤征幸  
小松大成



武蔵野桜まつりの様子

◆武蔵野桜まつり  
市民のふるさとづく  
りや友好都市との交流  
を目的に毎年開催さ  
れ、今年で24回目を数  
える。まつりの式典で  
当市議員の紹介を行  
い、友好都市歓迎昼食  
会では、武蔵野市議  
議員との交流を図るこ  
とができた。今後も交  
流を深めていきたい。

◆武蔵野ふるさと歴史館

歴史館の機能は、公  
文書管理、博物館機能  
が主なもので、旧西部  
図書館跡地にひっそり  
とたたずんでいる。昨  
年視察した「武蔵野プ  
レイス」とは違い、公  
文書、古文書、埋蔵文  
化財等に特化した歴史  
館となっている。  
特にも、学校教育と  
連携した事業展開を行  
っており、教育・文化  
に力を入れている様子  
が伝わってきた。

◆アンテナショップ  
「麦わら帽子」  
武蔵野市と友好都市  
にある市町村と連携  
し、平成13年からアン  
テナショップを設立、  
現在に至っている。ア  
ンテナショップは、友  
好都市のPRや物産販  
売、各種観光情報等ふ  
るさと情報発信、交流  
がその目的であるが、  
平成22年の販売額をピ  
ークに微減傾向にある  
ようだ。

◆その他

ムーバス（都市型コ  
ミュニティバス）によ  
る研修地移動を行っ  
た。200メートルご  
とにバス停が設けられ  
ており、高齢者に優し  
いまちづくりの象徴と  
感じた。

# 岩手中部クリーンセンターを調査

## 教育民生常任委員会

〔視察日程〕

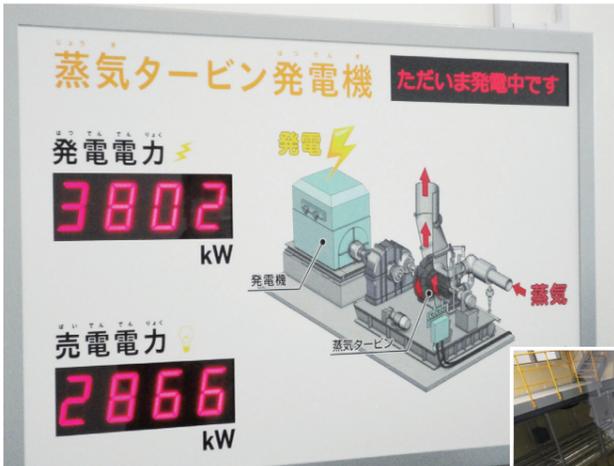
平成28年4月12日

〔視察研修先〕

岩手中部  
クリーンセンター  
遠野市一般廃棄物  
最終処分場

〔参加議員〕

萩野幸弘  
菊池美也  
小林立栄  
菊池巳喜男  
瀧澤征幸  
小松大成



クリーンセンター内の蒸気タービン発電機



◆岩手中部クリーンセ  
ンターは北上市、花巻  
市、西和賀町、遠野市  
の3市1町で構成され  
た岩手中部広域行政組  
合が主体となって建設  
された。ごみ焼却現場  
は、三菱重工を主体と  
した別会社が運営して  
おり、24時間3交代で  
監視している。ごみ発  
電量は最大4100k  
Wで、7600世帯分  
を賄うことが出来る。  
焼却灰はセメント材料  
として三菱マテリアル  
に納品している。  
ごみ収集については  
は、遠野市以外有料化  
しており、可燃ごみ10  
kg当たり花巻市70円、  
北上市130円、西和  
賀町30円を徴収してい  
る。平成29年4月1日  
から3市町130円で  
統一する予定とのこと  
である。  
ごみの有料化に関し  
ては、手段、考え方、  
スタンスの違いであり、

どちらが正解といつた  
レベルの問題ではな  
い。有料といっても徴  
収したお金は結局住民  
サービスに使われ、無  
料の場合も負担軽減の  
意味から住民サービス  
となっている。一番の  
目的は、ごみの量を減  
らしたり分別の徹底化  
を促進して、環境に配  
慮することではないだ  
ろうか。  
遠野市のコスト軽減  
には、ごみの量を減ら  
すことが重要だが、そ  
のためには食品残渣な  
ど、水分を含むごみを、  
燃えるごみから分別す  
ることが大事である。  
以前、北海道のごみ中  
継施設を見学した際、  
食品残渣は、完全に分  
別しており、悪臭も皆  
無であった。良い部分  
は見習うべきと思う。



宮守町下宮守にある遠野市一般廃棄物最終処分場

◆現在、遠野市の一般  
廃棄物最終処分場は、  
中部クリーンセンター  
で焼却した後に残る灰  
などを、ごみの排出量  
を按分した割合に応じ  
て受け入れている。処  
分場の形態は、「管理  
型最終処分場」という  
種類で、二重の遮水シ  
ートを敷いて埋め立て  
る構造となっている。

ほとんどが焼却残渣の  
ため、悪臭もなく良好  
な環境であった。  
埋め立て施設は、半  
分以上の残余容量があ  
り、今後20年間は使用  
できる見通しである。  
いずれ満杯になること  
から、その後の処理方  
法を、今から検討して  
おく必要があると感じ  
た。